ロックオーガー工法

ロックオーガー工法とは、従来の工法では能率良く経済的に掘削できなかったN値の高い砂層、礫層及び岩盤等を経済速度で削孔する事ができ、大口径基礎杭や既存地下躯体及び地中障害物を削孔する事ができます。

■ロックオーガー工法の特長

1 ケーシングとその中のスクリューが互いに逆回転して同時に削孔するタイプと、ケーシングとスクリューがそれぞれのオーガーで独立削孔を可能としたセパレートタイプがあります。

2 内外逆転する二重スクリュー方式で削孔すると、鉛直精度の高い施工ができます。

3 外側ケーシングにより孔壁を防護しながら削孔し、引き上げ時には安定液を充填するため、周囲地盤への影響はほとんどありません。

4 従来工法の地下障害撤去に伴う面倒な仮山留や、解体作業の工程を省けます。

5 高出力により、大口径杭の施工が可能です。

■工法の範囲

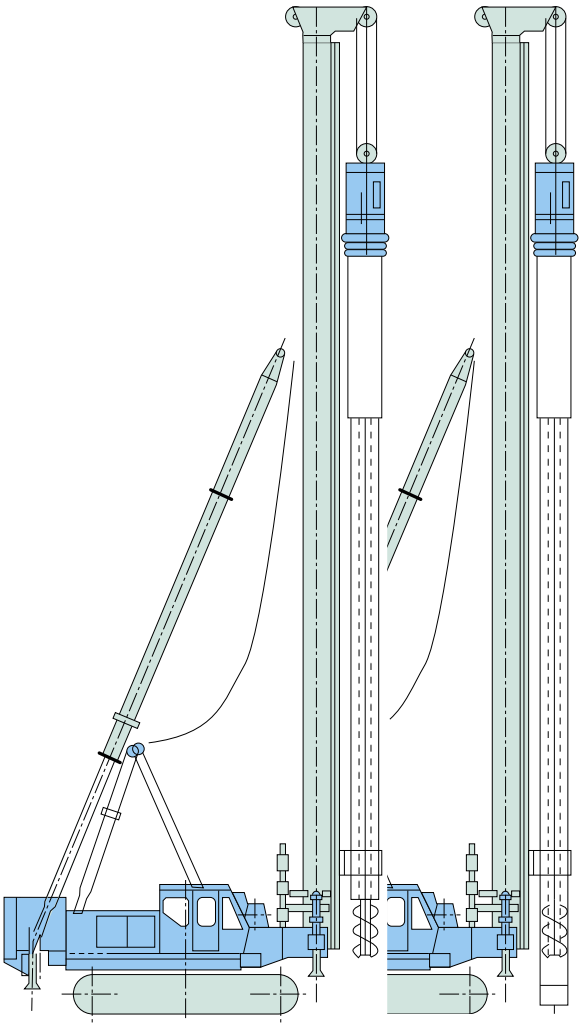
1 転石・玉石層における鋼矢板・H形鋼の建込先行掘。

2 転石・玉石層におけるソイルセメント壁の造成。

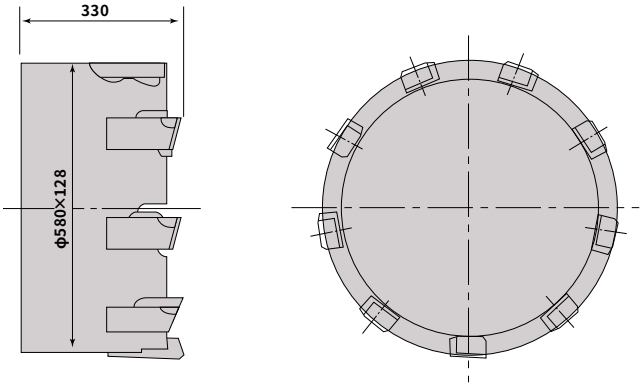
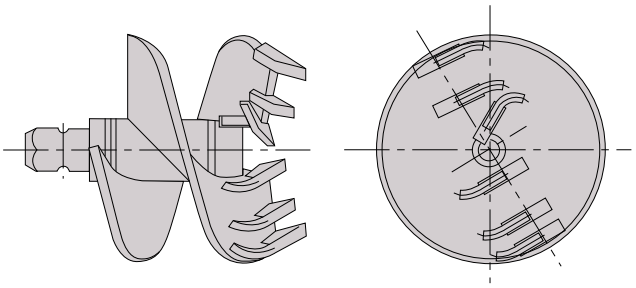
3 ビル地下室の壁・スラブ・梁・耐圧板の削孔撤去。

4 PC・RC杭の削孔撤去。

5 岩盤層の削孔。



■ケーシングヘッド



■オーガーヘッド